

日本アナキスト連盟機関紙

LIBERAFEDERACIO

Organo de
Anarkista Federacio Japana

発行所 自由連合編集局
東京都新宿区北山伏町33(大沢方)
編集施行人 大沢 正道

一部20円(税込)・1年240円

現代國家と革命

古典的革命観から の解放をめぐつて

国家とは何か。国家とは支配階級の道員であり、その由來は抑圧と搾取のための暴力による貴労搾取の道員であることに於ては、その例外ではない。これは今日までの国家の本質に就く論であり、特に近代ブルジョア国家に対する評価に頼っていえば、アナキストもマルクス主義者もその見解はほほほんといふえよ。ただし支配と搾取のない自由立場社会を志向するア

ナキストは、階級支配の道員としての国家を全面的に否定するに對して、マルクス主義者は、その過程においてプロレタリアジア国家として國家を利用しようする。ここアーナキズムとマルクス主義の革命理論の最も大きな違いがあるわけだが、現存する階級国家を、中立の、公私両者の福祉のための、超階級的なものとして見るなどにおいてはことなることなるほなし。

国家と社会

たしかに國家の本質は、被抑圧階級を搾取するという必要のためであ定は國家の一側面の規定として正しく今日おその限りにおいて訂正する必要は認められない。レーニンは「國家と革命」のなかで特にこの規定を強調した。あたかもこの規定が國家の全侧面を捉えていたかのように強調した。それは國家の超階級性を説き階級協調を志向した日立見主義者の國家理論

を粉碎するといふ必要のためであつて、この規定が今日の近代國家の全容、全機能を完全にひらけているかといふと、かなはずしてもううござれない。

アントニオ・グラムシは、この規定が國家の一側面の強調であるといふことは、國家と教府は種類の異なつた二つの概念であると思ふ。国家という概念は、政府との規範に対するは全く別の概念である。国家という概念は、政府と人民との発生において、「社会」はその発生において、「社会」は社会の上にある権力の存在を含んでいるばかりではなくて、地方的には、クロボトキノがひとことに

ないか、と思われる個所が散見される。クロボトキンは「国家・その歴史的役割」の中で次のように述べている。

「然しながら私は、國家と教府は、社会の二つとも、全く別のある概念に対しても、全く別のある概念を含んでいる。すなわち、それ

は、社会の二つとも、国家は社会からその内部に對する全く異質のもの、すなはちその誕生において、「社会」はその誕生において、「社会」は社会の上にある権力の存在を含んでいるばかりではなくて、地方的には、クロボトキノがひとことに

ないが、と思われる個所が散見される。クロボトキンは「国家・その歴史的役割」の中で次のように述べている。

「然しながら私は、國家と教府は、社会の二つとも、全く別のある概念に対しても、全く別のある概念を含んでいる。すなわち、それ

が問題は国家が微収する租税を中で、「われわれが國家に支払うべき時代に役立たせむ」としてこれを保存するためには書き残され

た慣習及ひ習慣の蘊集にはならないから、「杜会からアカツを手す中で、「杜会からアカツを手す」は譲りであり不要である。

多様の事態は、まつなく別の原因によるのであって、これに對しては多様の事態は、まつなく別の原因によるのであって、これに對しては多様の事態は、まつなく別の原因によるのであって、これに對しては多様の事態は、まつなく別の原因によるのであって、これに對しては多様の事態は、まつなく別の原因によるのであって、これに對しては多様の事態は、まつなく別の原因によ

国家の一一面性

た」、「古代の法律はすべて采

れども、國家は、その出発にあた

て、據似社会、すなわち社会

の差異形態といふ姿勢をとるが

まつて、本来は異質の社会的、公

共的機能をとりいれざる要素が

ある。かかる國家觀から見ると、

國家は歴史の過程におけ

る新しい関係を含んでいる。」

またクロボトキンは同書の中で、

国家と社会とを混同するなど警告

しつ、「國家は歴史の過程において、社会がどうたつの組織に

して、社会がどうたつの組織に過ぎない」と述べている。このことは何を意味しているか。国家

は社会から発生しながら、しかも社会の上に立ち、「社会から争つかれることである。エングルスは「民族を除外した権力」であるという

ことである。エングルスは「民族を除外した権力」である。この「民族」の「民族を除外した権力」の「民族を除外した権力」である。」「とう。この「民族を除外した権力」の「民族を除外した権力」である。」「とう。この「民族を除外した権力」の「民族を除外した権力」である。」

・私有財産および國家の起源」の

中で、「杜会からアカツを手す

である。」「とう。この「民族を除外した権力」の「民族を除外した権力」である。」「とう。この「民族を除外した権力」の「民族を除外した権力」である。」

・私有財産および國家の起源」の

中で、「杜会からアカツを手す

である。」「とう。この「民族を除外した権力」の「民族を除外した権力」である。」「とう。この「民族を除外した権力」の「民族を除外した権力」である。」

ことである。これが國家の発生において、社会と併行して「行われる」とは、その本質においては、社会と

立しもうがなかったのである。國

は、その本質においては、社会と

中ソ論争の歴史的背景

イデオロギーに隠れた

国家的、経済的利益の対立

奪始めれば互いに衝突するだら

うことはとして難くはない

ソ連と中国

国民党の関係

多くのものが賛成的な話し合いや、中蘇によって事実が認められ、中國とソ連の支配階級の間の競争が、ソ連による戦争のため、また権力欲を満足させるために戦われてきた。イデオロギーのための争いはさまでまれなものだ。キリスト教徒と回教徒は他のキリスト教徒に対して戦いをして、戦いのための提携した。プロテスタントとカトリックがカトリックに対し戦い、基督教徒は常に精神的な理由でより他の理由で「全体に反対して」全体主義者と手を結んだ。

一天共产主義国家の間の競争のイデオロギー的性格をハリーワードで「説明」している第四インスターのオロギーの論文を私は読んだ。その文章では唯物主義が展開され、その優位が固く信頼されている。われわれはイデオロギーではなく、利息や懷虫物から説明してみる。

「熊」と「龍」の奪い合い

奪い合い

一九二七年以來ずっと、ソ連共産党は世界の他の国のある共産党的指導者たちが、その最も公然と見てきた。そして少くとも一九二〇年以来連国家とそのやの方を踏襲してきた。ソ連はかつてソ連に属していくたゞての土地を要求し、また多くの場合再び征服した。その土地はヨーロッパ、インド、ラトビア、エストニア、エストニア、ラトビア、トルベ、イラン、などの他の領土を要求する。チベット、モンゴル、インドの一部、台湾等々から「竜」と「熊」とが共に略成長を続けた。だがモスクワはソ連共产党

は毛沢東が、彼は都市を離れ、農民の間で党を組織した。彼は上海を初めて他の都市を離れて、上海を初めその他の都市を離れた。それがモスクワではない、毛沢東はまだその黨は過去を支離の下に導きながらいるよう

はいなかったと思われる。毛沢東はまだその勝利と兵にモスクワは過去を

清算し中国の党を再びそれ自身の

領土を要求する。チベット、モン

ゴル、印度の一部、台湾等々に最初の国民會議を開き、その後

はまだその黨は過去を

清算し中国の党を再びそれ自身の

領土を要求する。チベット、モン

ゴル、印度の一部、台湾等々に最初の国民會議を開き、その後

はまだその黨は過去を

清算し中国の党を再びそれ自身の

領土を要求する。チベット、モン

ゴル、印度の一部、台湾等々に最初の国民會議を開き、その後

はまだその黨は過去を

清算し中国の党を再びそれ自身の

領土を要求する。チベット、モン

ゴル、印度の一部、台湾等々に最初の国民會議を開き、その後

はまだその黨は過去を

清算し中国の党を再びそれ自身の

な素振りを見せた。しかし毛沢東はスタートの製造品ではなく、あまり大した問題ではないと私自らの道をゆくことを決意したのだ。

戦後における

中ソの衝突

一九四八年以來、この両国家の間の鬭争は多くの重要な分野にわたって發展拡大した。そして彼等は各々のイデオロギーをもつてその抗争における自己の立場を正当化しようとしている。以下

ソ連は、三頭政治、そしてスター

リの下で彼の自身の同志たちよ

りも国民党に好意的であった。中

國は国民党を支持し、服従し、國

民党を采えさせることを命ぜられ

た。彼等はそれを実行した。ところが蔣介石はこの援助を感謝の意を示すことを受けた。やがて蔣介石の中共に対する懲罰の知らせ

はセスクワに届いた。『党的方針』

を実行せよ』これが反復された返答であった。

一九四六年秋、ある国民党部隊

は北部への攻撃を開始した。蔣介

石は南部への反復された送

答であった。

一方中国共产党主義者たちの方は

ソ連は一九四六年一月九日までに溝州を明渡すと決心してい

た。一方中国共产党主義者たちの方は

ソ連は一九四六年九月九日までに進軍の用意が整っていた。しかしソ連人は蔣介石の遲延について

月間のうちに再び南進を始めた。

一方中国共产党主義者たちの方は

ソ連は一九四六年九月九日までに進軍の用意が整っていた。しかしソ連人は蔣介石の遅延について

大杉栄・記念

大講演会

死後半世紀に近くなお現代日本に革命運動の指針として生きる思想と行動の人、アナキスト大杉栄の記念講演会をひらきました

！921年(10)

谷千香子訳

次回五百トロッキーはクロ

ンスタットへの最後通牒を発表し

た。それはクロンスタットの人々

にラジオを通じて伝えられた。

筋をとおした

思想人とアナキズム・ジヨン・ヘンリ・マッケー

浦精一

じつの意味しか持てていなかつた。初期の著作に「アナキスト」がある。小説ではないのこれが近代ドイツ文学史で、自然主義の作品とされている。内容の半分は自然主義作家のロンドンのルボルタージュである。その中にカガのハイカケットのアナキスト殉教者の悲劇が一章を占め、残りの半分近くが個人主義アナキストのオーバン(彼自身)と兵庫主義アナリストのオットー・トルップ(当時ロンドン有名だった生理学者オットー・リンク)の対話である。

個人主義アナキストは私有財産(私有地を除く)と対抗的競争(競争が避けられない)を信じ、あらゆる形の束縛に反対する。従つて共産主義否認し、政治的目的達成のための方法としての暴力革命に反対する。この点マッケーはアメリカのソローーやエマーソンに近い。アメリカにその個人主義アナキズムを継ぐ筋の通った、否筋を通じ抜いた作家であった。批評家の無理解から自然主義作家として扱はれているが、これは彼自身の嘆息でもあった。批評家を開いたのは彼であった。彼は時流に弱らず、わが道を行った。日本で出でているドイツ文學史にもないが、彼こそはスチルナーの「唯一者」とその所有の訳者ジョサイア・ワレンや同じ系統のベンジャミン・タッカーがいる。ワレンが始めて使用した「個人の尊厳」という言葉はジヨン・スチュアートによって全面的に利用されるこのワレンの主張と同じものが「アナキスト」の中で展開され



創立者の芸術家、個人主義者を表す只一人の作家である。彼は自らアーティスト個人主義者と名乗っていた。個人主義も、自我主義も、アーティストも彼にとっては同

う。一九〇一年に出た遊泳選手は極端な個人主義者の哲学を小説に折込んだものである。国家を象徴する水泳クラブ。クラブの理想と名譽のために少年時代から養成された選手フランシス・フェルマーの一生を書いたものである。その中でカガのハイカケットのアナキスト殉教者の悲劇が一章を占め、残りの半分

近くが個人主義アナキストのオーバン(彼自身)と兵庫主義アナリストのオットー・トルップ(当時

ロンドン有名だった生理学者オ

ットー・リンク)の対話である。

個人主義アナキストは私有財産(私有地を除く)と対抗的競争(競争が避けられない)を信じ、あらゆる形の束縛に反対する。従つて共産主義否認し、政治的目的達成のための方法としての暴力革命に反対する。この点マッケーはアメリカのソローーやエマーソンに近い。アメリカにその個人主義アナキズムを継ぐ筋の通った、否筋を通じ抜いた作家であった。批評家を開いたのは彼であった。彼は時流に弱らず、わが道を行った。日本で出でているドイツ文學史にもないが、彼こそはスチルナーの「唯一者」とその所有の訳者ジョサイア・ワレンや同じ系統のベンジャミン・タッカーがいる。ワレンが始めて使用した「個人の尊厳」という言葉はジヨン・スチュアートによって全面的に利用されるこのワレンの主張と同じものが「アナキスト」の中で展開され

じうの探究が出ていた。國家を検査シエルクンに象徴させ、無実の罪で投獄された青年アラウンの生

涯をかけての復讐を描いたものである。マッケーの一生を貢いた思想は、唯一者を根底として個人の自由を求める信念であった。彼が夢

に燃えていた。大選手と成人して、その光榮の中に「自己」を考

え。クラブの利害。そして「自我」の利害。遂に「個人水泳

選手」をして立つが、結局完全に「自我人」たり得なかった。友人

や、周囲の人達の冷眼に抗しつつ、「自我人」になり得なかつた。

到达者がたどる道を歩き続ける背教

者、個人主義の実現には大きな犠牲を捧げなければならない。遂に水泳

で死ぬ。自殺である。

この作品は個人主義を主題とし、国家の干涉を排除してアナキスト

の理想をかかげた独特のものであ

る。斯チルナーの「唯一者」とそ

の理想をかかげた独特のものであ

る。斯